



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2021.9.27

運動会ありがとうございました

先日の運動会では温かい応援、ご支援をいただきありがとうございました。声を出しての応援はできないため、静寂の中で進む運動会練習を見ながら、本番の雰囲気を中心に心配していました。しかし、当日は声を出しての応援は控えながらも、拍手を中心に会場全体が子どもたちを応援する暖かい雰囲気に包まれ、とてもありがたい思いでいっぱいになりました。新宮小・中学校のすばらしさをひしひしと感じました。

また、保健体育部の方を中心に受付をお手伝いいただいたり、片付けをお手伝いいただいたりと、運営上でもサポートいただき、無事運動会を終えることができました。ありがとうございました。おかげで、児童生徒も充実感のある運動会となりました。

今年の運動会は、直前一週間が雨天続きだった影響で予行演習もできず、運動場では一回も練習しないでぶっつけ本番で行わなければならなかった競技も複数ありました。うまくいかない部分は少なからず出るだろうと予想していましたが、心配をよそにおおむねスムーズに競技を行うことができたと思います。体育館や教室での指導で、教職員が丁寧に指導し、児童生徒がそれをしっかり聞き、受け止め切れていたことの証明だと思えます。子どもたちの頑張りに感動しました。

今年は、「お願いします」や「はい」など、大きな声で表現することができない中で、気持ちを演技や動きで表現しようと呼び掛けていました。保護者の皆様の目にはどう映ったのでしょうか。私には、それが十分伝わってきたように感じました。徒競走や全員リレー、選抜リレーでの一生懸命な走り。小学生のトランペット鼓隊や「Dynamite」での堂々とした演奏や演技。(この2つは、運動場での全体練習は一度もできないまま、ぶっつけ本番での演奏・演技でした) 私が特に印象に残ったのは、中学生の「ダンス・よさこいソーラン」です。よく見てみると、一つ一つの動きを正確にしようとするれば、思う以上に筋力が必要だと思えます。その中で、一生懸命に表現しようとする気持ちが伝わってきて、迫力ある演技となっていたと思います。さすが中学生という動きでした。部活動にも一生懸命取り組んでいることがつながっていると思えました。伝統の種目ではありますが、歴代の演技の中でも誇れる内容だったのではないかと思います。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続きますが、運動会の成果を生かし、創意工夫しながらさらなる教育活動の充実に努めてまいります。

24日の学校保健委員会・部活動参観、26日の資源回収・茶畑整備・グラウンド下整備にもたくさんの方にご参加、ご協力いただきありがとうございました。

